

「つなげて考え、根拠を明確にして表現する力」を育成する

学習指導研修会
の提案から

今年度の置賜教育事務所「『考える力』を育む授業づくり研究会」は、12名の教科研究員の先生方と「置賜で育成したい資質・能力」について協議し、全体テーマを設定することから研究をスタートしました。そして、「課題解決の過程において、つなげて考え、根拠を明確にして表現する力の育成」をテーマに掲げ、各教科チームでその資質・能力の育成を目指して研究を進めてきました。

研究の提案の場として、9月～11月に小学校国語、小学校社会、中学校数学、中学校理科の計4回の「学習指導研修会」を実施しました。

研修会に参加された先生方の声をもとに、提案授業の成果をお知らせします。

中学校理科（9月18日） 2学年 天気とその変化 米沢市立第七中学校 授業者 和地 奈々江 教諭



【本時の目標】 2日間の天気図をもとに分析した天気の特徴や移り変わりをもとに、翌日（3日目）の天気を予想し、実生活に役立つアドバイスを加えて考えることができる。

《参加された先生方の声》

- 日々の天気図の分析には手間がかかったと思いますが、新鮮な情報をもとに身近な天気について考えることは、興味関心を高めるだけでなく実感を伴う理解につながると感じました。
- 発表原稿を考えたり、教師自らお手本としてアナウンサーのように気象予報してみたりと、わくわくする場面が仕組まれていました。日常と科学が結びついた授業でした。
- 書き込みながら考え交流できる教材（天気図）が工夫されていました。
- 「既習事項の活用場面」を意図的に授業に設定することで、子供の意欲を高め、付けたい力をつけるのにとっても大切だと感じました。
- 導入のVTR提示の際、「何のために見るか」を確認すると、ポイントを意識して視聴でき、自分の天気予報にも生かされたように思います。



小学校社会（10月9日） 3学年 工場の仕事 高畠町立糠野目小学校 授業者 小関 健太郎 教諭

【本時の目標】 地域の工場を見学するにあたり、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、工場が行っている工夫について、学習問題をとらえることができる。

《参加された先生方の声》

- 3年生でも、話し合いながら付箋紙に書いたことをまとめ、質問事項を絞ることができていました。
- 資料のもつ社会的な意味を子供達から引き出すことで、単元を貫く課題を設定できることを学びました。
- 工場の写真やドレッシング（実物）を提示することで、実生活と学びとをつなげることができていました。前単元の「スーパーマーケット」の学習とも関連付けることができていました。
- 「実社会と子供達の学びをつなぐ」という大切な視点が管内の先生方で意図的に共有され、学びを深めるという研究そのものに学ぶことができました。
- 根拠を話す場をさらに充実させることにより、実生活との関わりがさらに出てきたり、話し合いの深まりにつながったりすると感じました。





中学校数学（11月7日） 2学年 図形の調べ方
米沢市立第三中学校 授業者 大沼 建 教諭

【本時の目標】 与えられた式を読み取ることを通して、星形五角形の先端にできる角の和が180度になる理由を既習事項を根拠に明確にすることができる。

《参加された先生方の声》

- 「式を読み取る」ことは、研究テーマの「つなげて考える」ための有効な手段であると感じました。立式の力や意欲向上にも効果があると思います。
- プリントの紙の色を変えることが、子供のやる気につながっていると同時に、学び合う場面では、子供にとってはグルーピングの目印になり、教師にとっては見取りの際の目印になっていました。
- 式を読み取り、「(既習事項である) 使う性質はどれか」を考えることが、既習事項の復習にもなるのだと感じました。
- 参観を通して“目の前の子供につけたい力”は何なのか、改めて考える必要があると感じました。
- 小中高のカリキュラムのつながりを意識して、内容を精選することで授業にゆとりが生まれているように感じています。生まれた「ゆとり」を子供が生き生きと考える時間に使うようにしたいと思います。



小学校国語（11月15日）5学年 説得力のある構成を考え、すいせんするスピーチをしよう
米沢市立塩井小学校 授業者 鳶田 妃佳里 教諭

【本時の目標】 スピーチメモの構成の要素と内容について話し合う活動を通して、塩井小学校の魅力について聞き手が納得するようなスピーチを考えることができる。

《参加された先生方の声》

- 付けたい力の絞り込みがしっかり子供に生きていました。自分の授業でも意識していきたいと思います。
- 国語において、この活動を通してどんな力をつけたいのかをしっかりとおさえていく必要があると改めて感じました。そのための要素は何なのかを常に考えていきたいです。
- 育てたい姿に対しての積み重ねが素晴らしいと思いました。子供の話し合う姿に担任の先生の温かい心が感じられました。
- 友達のスピーチを本気で良くしたいという姿勢が非常に素晴らしいと思いました。子供に何を学ばせたいか、どんな力を付けたいかを明確に持ち、単元・授業を構成することの必要性・重要性を学びました。
- 仲間のスピーチや考えがよりよいものになるようにと、自分事として考え、仲間の力になろうとすることが、本当の主体性なのだと思います。



4つの授業とも大変提案性に富み、探究型学習の授業づくりについて貴重な研修の機会となりました。参加者の先生方による活発な研究協議も行われ、4回すべての回とも学びの多い充実した研修会となりました。

研修の最後に教育事務所より、本研究の全体テーマの設定と関連付けて、「教科横断的な視点を大切にしたカリキュラム・マネジメントによる、学校として育成したい資質・能力の育成」について話をさせていただきました。

ご参加いただいた先生方、教科研究員の先生方、また会場を提供して下さった会場校の先生方に感謝申し上げます。

